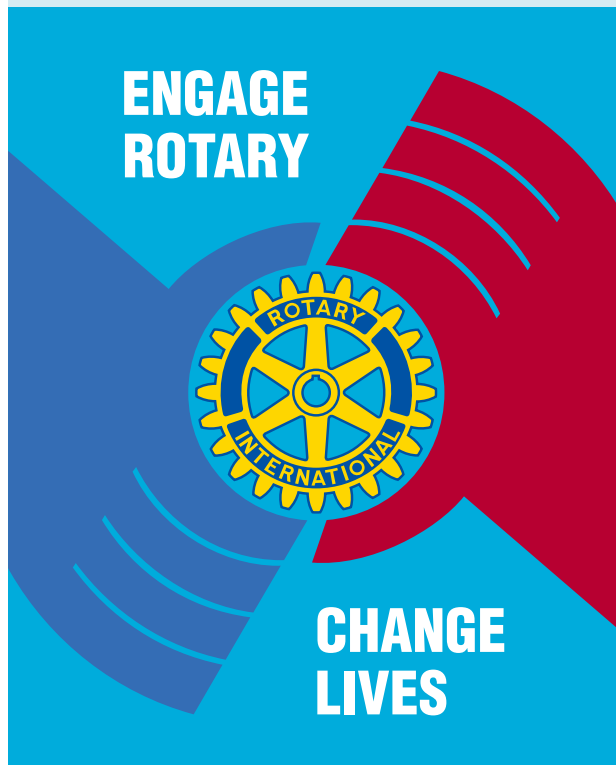


2013 – 2014
March
vol. 9

3



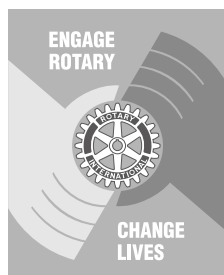
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信3月号

国際ロータリー 第2660地区
2013-2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

March vol.9

CONTENTS

ガバナーメッセージ（識字率向上月間および、世界ローターアクト週間にあたって）	1
世界ローターアクト週間にちなんで	3
国際協議会報告	4
第4組IM報告	5
第3組IM報告	6
ガバナー補佐からのメッセージ	7
我がクラブの目指すところ（IM第6組）	8
災害支援プロジェクト報告（第32回）	13
米山奨学委員会／ロータリー財団	15
2014年1月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

識字率向上月間および 世界ローターアクト週間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



(1) 識字率向上月間

- ユネスコ推計：世界で15才以上の8億人の人々が読み書き能力なし
- 女性：世界の非識字人口の64%以上を占める

2012年10月、パキスタン北部の町でまだ15才の若い女子中学生が頭部などに銃弾を受けて重傷を負うと言う、衝撃的なニュースが流れたことをご記憶の方は少ないと思います。彼女の名はマララ・ユスフザイです。彼女は11才の時から一部組織による女子校の破壊活動を批判、女性への教育の必要性や平和を訴える活動を続けて来たのですが、そのために彼女は命を狙われたのです。幸い一命を取り留めて今は英国で勉学に励んでいます。現在も国連の支援を得て女性差別の撤廃や教育の機会均等を訴え続けています。マララさんは本当に幼い時から教育の重要性に気付いて活動を始めていたのです。大変不幸なことですが、中東の一部の国や地域では女性に教育を受けさせないという人権侵害が、今なお続いています。

さて、世界中で識字率が最も高い国の一つである日本で生まれ育った私たちにとって読み書きの能力は、ごく当たり前前に誰にも備わっています。ですからマララさんの住む世界や彼女の思いを理解することは、そう簡単なことではありませんが、ロータリアンとしては知っておかなくてはならないことだと思います。世界の183の国と地域において識字率を見ますと、75%以下を示す国、地域は48にも及びます。その48の中にはポリオ常在国とされるナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3カ国が含まれています。それぞれの識字率は、66.6%、58.2%、37.8%という低さです。これは決して偶然の一致ではなく、読み書きが出来ないことで、ポリオという疾患やその予防について知る機会を逃してしまう人々が多数存在することを意味しており、このことがポリオ撲滅の阻害要因となっていると言っても過言ではないと思います。

識字率の低さは真実を知る機会を奪い、人々を貧困や病という不幸で深刻な状況に追い込んでしまうのです。

私は前号でこのようなことを書きました。ロータリー財団の奉仕活動の重点分野は①平和と紛争解決/予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展の6分野であり、これらは「平和のための活動」です。そして平和を阻害するものとは、紛争の根底に横たわる原因に等しく、多くの場合、食糧、水、住居、医療、識字、雇用、人権などの基本的条件の欠如であります。この基本的条件を維持・改善するためにロータリーは活動し続けているのです。つまり、識字は人間が人間らしく生きて行くための基本的条件の一つです。そして基本条件の中でも最も重視すべき要件だと思います。

では私たちは何をすべきなのか、それを考えてみる機会が「識字率向上月間」だとお考え下さい。

バングラデシュでダッカのロータリー・クラブが実施したConcentrated Language Encounter = CLE (語学力集中研修講座)と呼ばれる識字プロジェクトが、国の教育カリキュラムを革命的に変えました。357校がCLEプログラムを実施し、162,982人の生徒がその恩恵を受けた話は古くはなりませんが、有名です。

当地区の大阪心齋橋RCは今年度グローバル補助金を利用して、タイ・バンコク郊外の学校の教諭や生徒たちを対象とした、英語教育支援活動を計画され、ロータリー財団の承認を受けておられます。このプロジェクトには、英語教諭へのトレーニングや、辞書の寄贈が含まれています。母国語ではなく外国語習得のための教育支援ではありますが、素晴らしい取り組みだと思います。

これらは一例に過ぎませんが、私たちが非識字のもたらす不幸に思いを寄せて、識字率向上のためのプロジェクトを模索することは、極めて意義深いことだと思います。

(2) 世界ローターアクト週間

1993年、RI理事会はRACの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間

(World Rotaract Week)」に指定しました。

当地区内には、18のローターアクトクラブ(以下RAC)があり、活発に活動しています。会員数は6名~23名です。当地区には83のRCがありますので、RAC提唱クラブ数は20数%に過ぎません。そのためか非提唱クラブのロータリアンにはRACの活動は十分に理解されていない可能性があります。当地区の広報委員会はSNSを導入しました。この新しいツールを用いて、ローターアクターとロータリアンとの間のコミュニケーションが活発になることを願っております。

※以下はロータリー・ジャパンより抜粋です。

RACとは、18~30才(厳密には、30才になった後の6月30日まで)の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ(RC)が提唱する世界的な団体です。地域社会を基盤とするRACと、大学を基盤とするRACの2種類のRACがあり、1クラブは、少なくとも15人の創立会員でスター

トすることが望まれています。「ローターアクト(RA)」の名称は「ロータリー」(Rotary)と「行動」(Action)から来ています。

RACの誕生

1960年代に入って、世界中の青少年が、共に活動できるような組織をつくろう、という機運が高まりました。1962年、RI理事会により、まずインターアクトプログラムが宣言され、インターアクトクラブ(Interact Club)が次々と世界各地に創立されました。しかし、インターアクターは14~18歳の高校生の年代が対象で、卒業と同時に会員資格が失効。これを継続するものとして、1968年1月に、当時のルーサー・H・ホッジスRI会長により「ローターアクト構想」が打ち出されました。1968年、RI理事会は、初めてRACの発足を認証。世界最初のRACは、アメリカ・ノースカロライナ州ノースシャーロットRCの提唱により、1968年3月13日に結成された、ノースシャーロットRACです。

世界ローターアクト週間にちなんで

ローターアクト委員会 委員長

久保義誓 (茨木RC)



世界では、1968年3月13日に最初のローターアクトクラブとしてアメリカのノースシャーロットロータークラブがスポンサーとなり、ノースカロライナ大学にノースシャーロットローターアクトクラブが認証されました。日本では同年6月に川越ロータークラブが国際商科大学ローターアクトクラブを設立し、第2660地区では同年7月に大阪北ロータークラブが大阪北ローターアクトクラブを設立されました。

ローターアクトクラブが初めて設立された3月13日を「世界ローターアクトの日」と定め、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と指定されました。

今年度は枚方ローターアクトクラブがホストとなり、3月9日(日)に「世界RAC DAY」を行う事としております。内容は①世界遺産について②各国にあるRACについての勉強という事で、グループにわかれて勉強、ディスカッションをし、模造紙に描いて発表してもらいます。また今回は、インターアクトクラブ、ローテックス、交換留学生、大阪大学留学生をゲストとしてお呼びし、国際的な観点から共同作業を行い、交流を深めることとしております。

さて、ローターアクトの目的とは青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することであるとされております。

『世界RAC DAY』の他に、第2660地区ローターアクトの主な行事としては、7月『地区連絡協議会』地区内会長幹事会計が集まり、それぞれの役割などの勉強会を行います。又、地区代表の所信の発表も行います。

7月と12月に『地区献血』日本赤十字社協力の元、献血のPR活動を行っております。9月『全国統一アクトの日』はRACの全国統一事業を行うことを最終目的とし、「各地区で同じ日、同じ時間に何かをやる」として

設定され、アクトの「ク」と「ト」にちなんで、9月10日を『アクトの日』としています。活動開始時間も、9時10分となっています。

『海外研修』海外の見聞を広め、国際理解と海外のローターアクターやロータリアンと交流を深め、共に研修や奉仕活動を行います。今年度は2013年11月1日～5日迄インドネシア共和国の国際ロータリー第3410地区ジョグジャカルタ、国際ロータリー第3420地区バリ島の二か所の地区へ訪問、交流を行ってまいりました。詳細は海外研修報告書を参照してください。『全国ローターアクト研修会』全国各地のローターアクターが集結し、研修や交流を計ります。

本年度は3月に第2750地区ホストの下東京で行われます。『40・60交流会』以前は同地区であった第2640地区と第2660地区の情報交換及び交流会を行っております。今年度は4月に当地区ホストで行われます。5月『地区年次大会』地区内全ローターアクターが集い、地区行事や各クラブの活動報告、表彰規定による各賞の表彰、次年度地区委員などの紹介や卒業式を行っております。6月『リーダーシップフォーラム』次年度に向けて各クラブ新旧理事役員を対象にリーダーシップの高揚を図ると共に、新人ローターアクターに知識を深めて頂きます。その他、東北震災復興支援活動やゾーン別連絡協議会、全体会長会、全体幹事会、親子会等を行っております。

そして地区委員会では、『RACサポートシステム』に力を入れています。地区全体にRACの存在や活動、RACを持つ意味を理解していただき、未提唱ロータークラブへのPRとRAC会員増強に努めています。

以上の通り「世界ローターアクト週間にちなんでローターアクト活動について述べさせていただきました。

ロータリアンの皆様に於かれましては、ローターアクトに対して、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

国際協議会報告

ガバナーエレクト

泉 博朗 (大阪帝塚山RC)

日時：2014年1月12日～1月18日

場所：アメリカ カルフォルニア州 サンディエゴ市

会場：マンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴ・ホテル

次年度RI会長：ゲイリー・C.K.ホアン(黄 其光)(台北RC)



気温20度と言う清々しい気候の中、全世界から537地区のガバナーエレクトおよびその配偶者の方々が集い、ガバナー研修を受けました。すべてのイベント、宿泊、食事に至るまでホテルの中で執り行なわれました。基本的に、毎日朝、本会議(全体会議で同時通訳)そして地域別、GE、配偶者別々に分かれてそれぞれ研修を受けました。34地区ある日本人グループは2つに別れ、ご婦人方も同様にそれぞれ研修を受けました。講師は、私達より1週間前に到着し、講師として特訓を受けたパストガバナーの皆様でした。時には厳しく、時には丁寧に、ガバナーとしてのあり方を教育していただきました。いろいろな問題について順番に発言を求められ、また、2～4人のグループで話し合うなど気を抜く暇もなく、あっという間に時間が過ぎていきました。ご婦人方のグループも同じようなことであると聞きました。大変よかったことは同期のDGEの皆様のお話を聞くことができたことです。午後からも本会議、地域別会議とあり、しばらくして、夕食という毎日でありました。途中1日だけ昼から休暇がありましたが、ちょっと休憩しているとあっという間に時間が過ぎあわてて近くのスーパーに買い物に行ったぐらいのことでした。

2日目の1月13日、いよいよ、RI会長エレクトのゲイリー・ホアン様から、次年度RIテーマが発表されました、それは「LIGHT UP ROTARY」「ロータリーに輝きを」であります。それは孔子の「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯した方がいい」という言葉から考えられたとのこと。「世界に問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、「自分に出来ることはない」と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」とホアン様は続けられました。この様子はURLを「ロータリーに輝きを My Rotary」で検索していただければrotary.orgでテーマ発表の様子が動画で見ることが出来ます。

同期のDGEの皆様とはいろいろ情報を交換いただきましたが、我が2660地区のスーパーぶりがかえってよくわかりました。このように重たい荷物を背負ってい

るのかと思うと益々と意欲が出てきました。これは、ロータリーマジックと言って、そのように演出されているのだと言うことを、帰国後、パストガバナーに教えていただきましたが、まだその炎は消えていないようであります。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトはロータリーの実施を提唱されています。是非とも、ロータリーの認知度の向上のために、実施したいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

私の役割は、クラブの活性化であり、会員の増強であります。ロータリークラブも組織である以上、その結束は強く、適正な増強が必要であります。また、ロータリーには明確な「目的」が掲げられております。それは「友好」と「奉仕」であります。国際協議会においても、多くのパストRI会長の方々から、ロータリーの感動のお話がありました。決して魔法の杖があるわけではありません。帰国後には「PETS」「地区研修協議会」と次年度のための行事が待ち受けています。「ロータリアンの皆様お一人お一人の輝きでロータリーが輝き、全世界が明るくなった」と思ったら、成田空港に着いておりました。



第4組インターシティ・ミーティング報告

八尾RC 会長 **高井榮彌**

IM実行委員長 **居相英機** (八尾RC)

テーマ：大阪は真に魅力ある街になりえるか？

ホストクラブ：八尾ロータリークラブ

日時：2013年11月30日(土) 13:30～17:00

場所：シェラトン都ホテル大阪

参加者数：245名、オブザーバー(家族) 86名

本年度の第4組IMはまちづくりをキーワードに、私たちに何ができるのかを考えていただく機会とすることをめざしました。福家G、泉GEをはじめ、年末の忙しい時期にもかかわらず多数の皆様にご参加いただきました。

基調講演の講師には、建築家で大阪を拠点に世界で活躍されている安藤忠雄氏を招きました。安藤氏がこれまでに手掛けてこられた作品の一部をご紹介いただき、その独創的なコンセプトなどを解説していただきました。ユーモアを交えながらとてもわかりやすい内容で、出席者もたちまち安藤氏の世界に引き込まれているようでした。

また地元大阪で取り組んでこられた様々なまちづくりのプロジェクトについてもお話しいただき「大阪のまちには、まだまだ可能性がある」と、力強い言葉を聞かせていただきました。さらに「60歳代、70歳代でもまだ

まだ若い。老け込まずにがんばりましょう」と激励のメールも寄せていただきました。

出席者はこの基調講演で元気と勇気をもらい「自分もまちのために何か行動を起こそう」と心を新たにしました。

当日はこのほか著書のサイン会も開催していただき、印税とロータリアンからの寄付を東日本大震災の遺児支援にご寄付いただきました。

引き続き行われた懇親会では各クラブの代表にご登壇願ひ、会員増強を中心にクラブの現状などを報告していただきました。近隣クラブの状況を知り、情報を交換する意味でも有意義な内容であったと思います。

基調講演と懇親会を通じて、参加していただいた方々にはそれぞれにいろいろと得るものがあったIMだったのではないのでしょうか。開催にあたりご協力いただきました皆様には、改めて感謝申し上げます。



第3組インターシティ・ミーティング報告

香里園RC 会長

浅井勝弥

去る1月25日土曜日枚方市駅前のアルカスホールにて、IM3組のIntercity Meetingを開催いたしました。

当日は寝屋川市馬場好弘様、G、G E、A Gはじめ多数のご来賓の方々、さらには3組の各ロータリークラブの会員の方々にお集まり頂き、厳粛な上にも盛大に開催できましたことは、我々一同喜びに耐えません。誠にありがとうございました。

我々のクラブは創立20周年を迎えようとしておりますが、在籍者数わずか16名です。皆一丸となり運営に全力を注ぎましたが、行き届かぬところも多々ありましたこと、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、当日の平田進也氏の映像を交えての講演は、御自身の体験に基づく話だけに実に感動的で、その証拠は講演中に聴衆者で席を立つ人が一人もおられなかった事実が、雄弁に物語っているとおもいます。このことは、後の懇親会の席上で、2階席にてきておられた参加クラブ会員様から私が直接聞かせて頂いた話で、主催者として誠にうれしく、又ありがたく思う次第であります。

省みますれば、講師の選定に当りどなたにお願いしようかと迷いに迷った末に、福家宏ガバナーのテーマである、“感動の体験を、人々にも、自身にも”に沿い、“感動”をKeyWordに選び、選定作業に入りました結果、平田氏に出会いました。氏の演題も“すべての行動はお客様の「笑顔」のために”で、これこそ会員皆様に“感動”していただけるのではないかと、考えた次第です。

氏の話の内容は、他の旅行会社では到底実現実施しないであろう企画を、氏自ら立案し率先して実行に移すだけでなく、お客様の痒いところを搔いてさし上げるのはもちろん、更に痒くなるであろうところまで予測して、搔いて差し上げる、この精神が、全てのお客様に感動を与え、満面の笑顔を表してくれるのであり、これこそがサービス業の基本である、とのことでした。

常人の考え付く当たり前の考えの更に深く迄思考を巡らせる、氏の思慮深さに敬服し、“カリスマ添乗員”といわれる由縁を大いに納得し、万雷の拍手の中、講演は終了いたしました。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について



IM第6組 ガバナー補佐

山田英男 (大阪城北RC)

IMの将来像を語る前に、現状において気になる点をひとつ申し上げておきたい。

ロータリージャパンのホームページには「IMはガバナー補佐(=Assistant Governor、以下AG)が主催する場合が多い」とある。当地区においても概ねガバナーまたはAGが主催して行われているようだ。その一方で、企画から運営まで、ホストクラブを中心に進められているのが現実だろう。

しかしそれはそれでいいと思う。第一義的にはもちろんホストクラブが会員の英知を結集して自由に行われるべきだ。ただし、主催者であるガバナーやAGも企画段階からある程度かかわっておく必要はあると思う。IMは地区大会に次ぐ大きな地区行事に位置付けられると考えるからだ。

とはいえ、ガバナーがすべてのIMにかかわるのは現実的ではない。ここはAGの出番である。ホストクラブとAGが連絡を密にしたうえで、進捗状況を毎月開かれるAG会議でガバナーに報告する。一方、組ごとに開かれる会長・幹事会で各クラブにもその内容を伝える。そしてガバナーや各クラブからの意見やアドバイスがあれば、ホストクラブにそれをフィードバックする。こうして地区や各クラブと情報を共有することで当事者意識が高まり、IMが活性化するはずだ。動員の苦勞も解消できるかもしれない。

これまで我々はIMをホストクラブ任せにしすぎていたのではないだろうか。その原因のひとつは、ホストクラブとAGの所属クラブが異なることにあると思う。現状ではAGではなく、AGエレクトの所属クラブがホ

ストクラブを務めるケースが多く、私の所属する6組も同様である。これだとコミュニケーションがとりにくかったり、お互いに遠慮したりで、企画をスムーズに進めにくいかもしれない。十分な話し合いがなければ、AGがホストクラブの事情を理解しないまま準備を進めることになり、トラブルの原因にもなりかねない。

そこでAGの所属クラブがホストクラブを務めることを検討してはどうだろう。当地区内では第5組はすでにそのやり方を採用しているようだ。

福家ガバナーはIMについて、かつてこう発言された。「IMはそれぞれ各組が自由にやってください」。これは、AGとホストクラブがやりやすいように、そしてわれわれを信頼してのお言葉だと思う。そのご意向に従い、われわれは自由な発想で主体的にIMの準備を進めていけばいいと思う。

議論の余地はあるだろうが、これからのIMにはもっと多様性をもたせてもいいかもしれない。現状では講演やパネルディスカッションというスタイルのものがほとんどだが、実はIMのテーマや形式に制限はない。多彩な人材が集まるロータリアンは職業も考え方もバラバラ。この多様性こそがRCの魅力といえる。ロータリアン同様、IMにももっと個性や多様性があった方がいいのではないだろうか。

IMはクラブを超えてロータリアンが広く交流できる貴重な機会だ。一定のルールを守り、RCのポリシーから大きく逸脱しない限り、新しい発想で新しいスタイルのIMに取り組んでいくことこそが、これからのIMを魅力あるものにするうえで不可欠だと考える。

我がクラブの目指すところ (IM第6組)

大阪RC 会長

立野純三

大阪RCは、本年91年目の新たな第一歩を踏み出す年です。

今年度の運営方針は『明るく、楽しく、奉仕』としています。具体的には5大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)に積極的に参加・実践していただき、メンバーの方々に精神的に豊かになることを実感してもらいたいと思います。

また会員増強にも力を入れていきますが、あくまで将

来大阪RCの人材となる多様で多才な人の入会を促していきます。

90周年記念事業のひとつである「宮古・大阪みおつくし奨学金制度」の実施と東日本震災復興支援のための事業を継続して行っています。

これらの運営方針の下、大阪RCの歴史と伝統を大切にしながら、変えられる所があれば改革をしながらクラブ運営を行っていきたく思っております。

大阪東RC 会長

塩谷眞治

今年のテーマ「作ろう歴史を・楽しもうロータリー」といたしました。

互助の精神で全員参加の活発な委員会活動、明朗な精神でクラブの雰囲気を皆で作る規律ある例会を目指します。

しかし活発な委員会活動も規律ある例会も、お互いに親しくなり打ち解けあうことによって活動できると確信し、親睦活動を充実し、多くの家族を含めた交流の場作りを行いました。

幅広く積極的に奉仕活動に取り組んでおり、震災支援活動については継続して取り組む必要があると考えています。FVPについても積極的に取り組んでいます。毎回主要課題である会員増強については委員長と3副委員長体制で取り組んでおり純増5名を目標に活動しています。

当クラブは、先人が長い時間をかけて作り上げた57年の来歴である伝統を大切に、楽しく明るい規律あるクラブ作りを目指します。

大阪東淀ちややまちRC 会長

大澤一雅

大阪東淀RCと大阪ちややまちRCが統合し、早いものでもう5年経ちました。もともと別々のクラブだったとは思えないほど自然に打ち解け合い楽しいクラブライフを送っています。

今年度の目標は、まず3月15日のインターシティ・ミーティングを成功させることです。リハーサルも入念に行い成功に向けて全会員が一丸となって準備を進

めているところです。IMのテーマは「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～です。20年に1度という日本独特のこの営みを様々な角度から皆様に知っていただければと考えています。

また、魅力あるクラブ作りや会員増強もいろいろ意見を交換しながら進めています。その甲斐あって今年度初の新入会員を先日お迎えすることができました。

我々のクラブは30人程度の小さな所帯ですが和気藹々と家族的な雰囲気の中、様々な活動に積極的に参加

し、より魅力的なクラブ作りを目指し、今後も努力を続けていこうと思います。

大阪城東RC 会長 福山信也

大阪城東RCは40年の節目を越え、41年目に入りました。

期首会員数は43名、平均年齢64歳、最年長会員90歳、最年少会員39歳、女性会員5名という構成になっており、昭和40年代生まれの会員も増えてきました。年代や在籍年数の違いによるロータリークラブへの要求も様々です。

このような状況を鑑み、本年度の会長方針は、「絆を深め、奉仕の輪を広げよう」としました。ロータリークラブの奉仕活動において、会員、地域、姉妹クラブとの絆の深まりが、新たな奉仕活動の創出や、会員増強につながり、奉仕の輪の広がりにつながると考えています。

個別の奉仕活動では、例年の継続事業に加え、クラブ

奉仕では、新入会員歓迎会、会員研修会。職業奉仕では、地元小学校への出前事業。社会奉仕では、城東区政70周年への協賛事業、交換留学生の受入。国際奉仕では、姉妹クラブとの提携強化、財団寄附増額、米山奨学生の受け入れなど、各委員会が積極的に活動に取り組んでいます。

このような活動を更に充実させるためには、55名程度の会員数が必要と思われる、本年度は純増5名を目標に置きました。

今年度第一例会で、チャーターメンバーから、「40年を越え、クラブの品格も上がってきた。更に高い品格のクラブを目指そう」との言葉をいただきましたので、本年度方針と併せて取り組んで参ります。

大阪中之島RC 会長 山本 肇

当クラブは昨年、高島ガバナ一年度で少人数ではありましたが、全会員一致団結した結果、結束したクラブに成長することが出来たと思います。今年度は少し休息したら良いと年初にその旨を申し上げました。

半年が経過し、五大奉仕他、各小委員会が頑張っていたら奉仕活動を実践していただき、感謝の念に堪えません。

今年度の当クラブは28名ですが、今年度後半の活動予定は、

2/27 大阪鶴見、大阪城北、大阪中之島3RC合同懇親会
4/26~4/28 台北福齡RC16周年、我がクラブ初め

ての奨学生の補助金の授与式へ台北に17名参加予定
5/9~5/10 東北大震災の支援(大槌小学校、中学校、大船渡市→寄付金、パソコン、野球用具、楽器等)の贈呈式へ東北に13名参加予定

5/31~6/4 国際大会(シドニー)18名訪問予定

また当クラブのお世話で大阪鶴見RCと台湾華朋RCの姉妹締結の実現があります。当クラブの目指すところは、さらなる発展のため、魅力ある自主的な奉仕活動が自由にでき、明るく楽しいクラブにすることです。

会員相互の親睦、友情を深め、新入会員が入会してよかったですと思えるクラブを目指したいと思います。

大阪大手前RC 会長

大蔭政勝

大阪大手前ロータリークラブは、昨年度で創立30周年を迎えました。本年度は、今までと同様に発展を続けて行けるようクラブの体制を強化する年と考えております。会長方針は『KEEP THE SPIRITS, CREATE THE ROTARY LIFE!』、「奉仕の理想を实践し、心豊かなロータリーライフを！」です。諸先輩が培ってこられた良き伝統を大切に継承し、各分野の課題を前向きに改革して行く年であると考えております。

2月5日の歴代会長幹事会では、理事会や、拡大CLP委員会、クラブ協議会等が出てきた内容を、チャーターメンバーの方々と膝を交え、将来を見据えて話し合いました。内容は組織の合理的な改革や、運営の改革、奉仕のあり方等、基本的な議題を中心に致しました。

会員維持増強に付きましては、福家ガバナーの地区の

方針にもありますが、広報活動「公共イメージと認知度の向上」するためにホームページ等の充実が必要で年度内に一新することになりました。また次年度に向けてもFVPの積極的活用や、地区への参加協力としての地区委員の推薦を次年度4名致しました。

現在、3.11震災支援特別委員会の継承事業として相馬ロータリークラブのご協力の下に風評被害にあっている「福島産の農産物」の購入の輪を広げております。安全検査済で美味しい『福島県産コシヒカリ』です。また御協力宜しくお願い致します。

私も「ロータリーは職業奉仕が一番大事」と言われ入会して18年、『信頼の輪』と『親睦の絆』は、まさに「我がクラブの目指すところ」だと思っております。

我がクラブを紹介して下さった方に心より感謝。

大阪城北RC 会長

川本達雄

ロータリークラブは、「会員基盤の維持・拡大」「各種奉仕プロジェクトの実施」「ロータリー財団の支援」「次世代指導者の育成」を行うことが使命とされています。そのうちの「会員基盤の維持・拡大」は、ロータリークラブが行うすべての事業の基本となるものです。

新規会員の入会増強、会員の退会防止に努めるのが、その方策であります。ここばかりに目を奪われてはならないと考えます。ロータリークラブが会員にとって、「入会してよかった」と思える場であるとともに、ロータリークラブに興味のある人達に対して「入会したくなる」ような場にすることが、基本となります。

そのため、ロータリークラブのすべての事業を「楽しく」行える仕組みを考えるのが「我がクラブの目指すところ」です。

ここで言う「楽しく」という言葉は、ロータリークラブを単に「お遊びクラブ」にするかのように聞こえますが、そうではありません。会員がお互いによく知り合うこと、心の繋がりを持つことが中心になります。その「和」の中から、「職業を通じて、社会および国際に奉仕する」というロータリークラブの使命が果たせるのです。

実は、この「和」の考え方は、我が大阪城北ロータリークラブの従来からの考え方でもあります。

大阪天満橋RC 会長

在本 茂

我がクラブでは対外奉仕としての、職業奉仕、社会奉仕、新世代奉仕、国際奉仕につきましては、それぞれ伝統のある行事を行っております。その内容は職業奉仕賞の授与、青年功績賞の授与、青少年交換事業、米山奨学生の受入などです。対内奉仕としては、秋春の家族会とクリスマス家族会、等を行っております。

同好会もさかんであります。それから子クラブ、孫クラブとの交流として毎年もちまわりで三世代合同社会

奉仕事業並びに合同例会を行っております。

このように当クラブの活動は活発であると思っております。各会員はいずれかの委員会に所属することになっておりますので会員一人一人の負担はその分大きくなりますが、会員間の絆を太くしてロータリーの精神であります奉仕の理想を追求していくクラブ、まわりからよく活動しているクラブといわれるようなクラブを目指していきたいと思っております。

大阪鶴見RC 会長

広瀬芳和

大阪鶴見ロータリークラブは、次年度に創立30周年を迎えます。正確には2014年7月10日が満30年になり、本年度はその式典の準備年度となります。この30年を振り返り、この節目では更に将来を見据えなければならぬと思っております。

当クラブは、有難い事に鶴見緑地公園という素晴らしい市民の憩いの場所があります。ロータリー地域活動の中でその憩いの場所を利用した沢山のイベントに参加出来るチャンスも有ります。特に毎年9月に行われる鶴見区民祭りでは、公園内でホットケーキを作り販売しています。ロータリアン以外で手伝ってくれる学生は、ロータリー交換学生、日本語教育センターの留学生、地元の中学生、他沢山の学生です。

当クラブは、31名と現在会員が少ないクラブですが、非常に仲良しで和気藹々としています。交換学生も積極的に受け入れて来ました。最近、高齢化に伴って受け入れるロータリアンが少ないので困っています。

昔から大阪鶴見ロータリーは、「国際の鶴見」と言われて来ました。やはり会員を増やして、「国際の鶴見」を継続出来るように頑張りたいと思っております。特に若手の会員増強が急がれます。

本年度の我がクラブのテーマは「参加しやすい、参加したい、参加できる、気楽なクラブ」を目指しています。よって、会員の増強と親睦活動を重要課題とし、国際の鶴見を更に継続し目指して行きたいと考えます。より一層の皆様のご協力をお願い致します。

大阪淀川RC 会長

西川正一

クラブの歴史は53年になりましたが、会員数は30名前後と随分少なくなっています。そして会員歴10年未満の方が17名と過半を占めています。

クラブの歴史の割には、古き良きロータリーを語り伝え実践を通じて背中を見せてくれる先輩方が少ないクラブだといえます。

しかしながら、奉仕活動の中味は伝統のおかげと言えますか、それなりの質量があると思っております。

クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕（RAC活動を含む）全てで年間計画が実行されています。

そのような状況下で、一番意を注いできたのが毎週金曜日の例会運営です。この人数ですから、会員皆さんに

は何かの役をして頂く全員運営を基本形としてきましたが、これが良かったと感じております。それぞれがアドリブの発言をするようになり、親近感のある例会が行なわれています。

卓話も楽しみの一つになっています。会員の在籍年数を伸ばす為にも、毎週の例会運営が大変重要であることを再認識している次第です。

新大阪RC 会長

横山洋一郎

当クラブでは、今年度の活動テーマを「活用しよう！新大阪ロータリー」とし、ロータリークラブに入会しロータリアンになったからには、もう一步踏み出してクラブをもっと活用して充実した楽しいロータリーライフ、またロータリーでないと出来ない体験を実践しようということでクラブ運営をしてまいりました。

何よりもクラブの安定した活動を継続してゆくためには、仲間を増やす必要があるということで「力を合わせて50名一奉仕の輪を広げよう」のキャッチコピーのもと、今年度2名増1名減で現在33名ですが、今年度中には、最低あと2名増の35名にはしたいと考えております。

また来年度は当クラブも30周年を迎えることとなり、奉仕事業の新たな挑戦ということで、社会奉仕部門では、国土交通省で行われている大阪湾再生プロジェクト

へのロータリーとして何かお手伝いできないか検討しております。また友好クラブの台北中興RCと共にやってきた、東日本大震災支援活動の被災地住民を巻き込んだ新たな展開を思案しております。

国際奉仕部門では、GG（グローバル・グラント）を活用した支援を、トルコ・サムスンRCと共にトルココサカ村での飲料水供給プロジェクトを現在申請中です。

今年度も残すところ少しとなってきましたが、これから後につながる事業を模索してゆく年度にしたいものだと会員一丸となって活動しております。

最後になりましたが、来年度はIMホストクラブとなっておりますので、会員一同心をこめて準備させていただきますので、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

災害支援プロジェクト報告 (第32回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年2月19日現在)

【残 高】

(単位:円)

預金残高	7,793,713
------	-----------

3. フィリピン大規模台風 (Haiyan) 支援について

- ①地区補助金口座から、1,251,046円をフィリピンD3860に送金を致しました。(次頁礼状ご参照)
- ②地区内各クラブからフィリピン大規模台風被害支援金として4,168,201円を拠出していただきました。
- ③同支援金を、同じくD3860に送金の準備を致しています。
「同地区では、第1次の緊急支援は概ね終了。今後は、第2次、第3次の支援、即ち住まい、生計のことなどに支援の手を広げていく計画で、D2660からの支援に大変感謝している」という連絡が入っています。



**RI DISTRICT
3860**

ROTARY INTERNATIONAL
District 3860
Philippines



February 19, 2014

Rotary District 2660
Osaka, Japan

Dear DG Hiroshi Fuke and PDG Yoshiko Takashima,

Thank you so much for your clubs generous donation of **JPY 1,251,046.00**, equivalent of **P514, 632.66** (net of bank charges) we received December 10, 2013.

On November 8, 2013, the world saw how the Philippines was devastated by the strongest typhoon Haiyan (Local name: Yolanda) to date, killing more than 6,000 Filipinos and displacing millions of lives either without food, water, shelter and means of income, badly hitting most the areas of Cebu, Ormoc, Tacloban, Samar, Leyte and the rest of Central Visayas.

The kindness you have shown will help the victims of the tragedy restore much of what have been lost and bring back hope to their lives and family. Rest assured that we will exercise proper stewardship of the funds you have entrusted to us.

In behalf of Rotary District 3860, we extend our deepest gratitude to your being part of our continuing effort in assisting our countrymen withstands the sufferings and challenges they are facing.

Yours in Rotary,


Edgar R. Chiongbian
District Governor


Philip N. Tan
District Secretary


Wilton Uykingtian
Chair, D.R.R.R.C.

DONATION ACKNOWLEDGEMENT RECEIPT

Organization : **Rotary International District 2660**
Osaka, Japan
Date Received : **December 10, 2013**
Cash Contribution : **JPY 1, 251, 046.00**
: **One Million Two Hundred Fifty One Forty Six**
Deposited at : **Rotary District 3860 Disaster Fund**
Bank of the Philippine Island – MEZ 2 Branch

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 12月末	全国寄付金合計額	826,356,230円	(前年同期比1,270万円増)
	第2660地区寄付金合計額	55,504,700円	(前年度比10.63%増)
	全国寄付合計トップ10		
	1. 第2650地区	60,580,814円	
	2. 第2660地区	55,504,700円	
	3. 第2750地区	52,234,352円	
	4. 第2760地区	47,710,295円	
	5. 第2590地区	46,595,800円	
	6. 第2770地区	41,353,000円	
	7. 第2580地区	35,711,850円	
	8. 第2820地区	33,835,500円	
	9. 第2780地区	30,321,570円	
	10. 第2790地区	27,711,700円	

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
原田 武夫	4	くずはRC	奥野 秀郎	3	大阪うつぼRC	水山 章	6	大阪堂島RC
阪本 一平	1	茨木東RC	東村 高良	3	大阪うつぼRC	梅本 弘	6	大阪堂島RC
山野 寿	1	茨木東RC	大川 治	3	大阪うつぼRC	井本 敏弘	2	大阪淀川RC
平松 克一	1	茨木東RC	濱田 多喜男	4	大阪うつぼRC	中野 秀一	1	大東RC
松尾 泰博	2	茨木東RC	藤井 健蔵	7	大阪うつぼRC	佐藤 多加志	1	大東RC
石谷 隆子	1	守口RC	奥山 泰弘	7	大阪うつぼRC	木村 克己	1	大東RC
福田 治夫	5	守口イブニングRC	河田 英子	5	大阪ユニバーサルシティRC	杉原 巨峰	1	大東RC
郷木 健	1	摂津RC	西村 文延	2	大阪船場RC	福富 経昌	3	大東RC
秋山 肇	1	摂津RC	武田 實	3	大阪船場RC	西條 義昭	4	大東RC
上島 一夫	2	千里RC	藤田 定信	1	大阪中央RC	大西 寛治	4	大東RC
粉川 雅至	2	千里RC	後藤 哲男	1	大阪中央RC	田中 隆弥	3	池田くれはRC
田橋 賢士	3	千里RC	小谷 和靖	1	大阪中央RC	小寺 史郎	2	東大阪みどりRC
上橋 芳雄	3	千里RC	松本 晴充	2	大阪中央RC	北山 治信	2	東大阪みどりRC
小谷 澄信	4	千里RC	水本 隆平	2	大阪中央RC	山片 重房	2	東大阪みどりRC
西田 泰晴	4	千里RC	永井 路子	2	大阪中央RC	松浦 利英	2	東大阪みどりRC
笠原 隆之助	6	千里RC	村上 憲一郎	4	大阪中央RC	杉森 隆志	2	東大阪みどりRC
藤田 芳浩	6	千里メイプルRC	笹木 秀雄	8	大阪中央RC	佐藤 三千秋	5	東大阪中央RC
黒川 彰夫	7	千里メイプルRC	発 剛士	26	大阪鶴見RC	奥田 長二	4	八尾東RC
高尾 修	8	千里メイプルRC	小山 義之	7	大阪鶴見RC	三木 得生	1	豊中南RC
辻本 憲三	13	大阪RC	寺本 嵩	1	大阪東RC	増山 忠雄	2	豊中南RC
福田 大輔	1	大阪うつぼRC	横田 喜久雄	19	大阪東淀ちゃやまちRC	前田 建司	1	箕面RC
小林 厚	2	大阪うつぼRC	藤本 眞一郎	10	大阪堂島RC	多田 慶三	3	箕面RC

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年12月)

クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数
茨木東RC	19	千里RC	31	大阪東RC	83	東大阪東RC	43
高槻RC	21	大阪うつぼRC	51	大阪堂島RC	31	八尾東RC	26
摂津RC	22	大阪中央RC	36	大東RC	35	豊中南RC	37

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名
嶋田 愛親	くずはRC
木崎 信也	くずはRC
山田 恭子	大阪柏原RC
三木 秀治	大阪北RC
野村 公平	大阪北RC
吉田 昌功	大阪北RC
白石 元宏	大阪北RC
馬場 俊和	大阪北RC
松崎 継昭	大阪北RC
永田 秀次	大阪天満橋RC
西井 幾雄	大阪天満橋RC
北村 修久	大阪天満橋RC
徳岡昭七郎	大阪天満橋RC
中島 康之	大阪天満橋RC

氏名	クラブ名
新井 性哲	吹田江坂RC
成松 重人	吹田江坂RC
林 尚美	大阪フレンドRC
古城 紀雄	千里RC
松永 茂	吹田RC
田中 豊司	吹田RC
西口 昌昭	高槻東RC
新井 昭二	高槻東RC
栗田 隆志	大阪咲洲RC
山本 隆一	大阪鶴見RC
神田 勇人	大阪城北RC
古川 真照	大東中央RC
荒金 正之	大東中央RC
村尾 忠信	東大阪RC

氏名	クラブ名
杉本 哲也	東大阪RC
岡本 慎一	東大阪中央RC
中岡 則和	東大阪みどりRC
諏訪 正弘	大阪RC
樋口 武男	大阪RC
吉岡 亨	大阪中央RC
吉田 茂夫	大阪天王寺RC
笹田 隆志	大阪ユニバーサルシティRC
宮本 正明	大阪東RC
寺本 嵩	大阪東RC
鎌田研一郎	大阪心斎橋RC
荻田 倫也	吹田西RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年12月)

氏名	回数	クラブ名
小林 正彦	1	くずはRC
境 高彦	4	大阪城南RC
檀野 隆一	3	大阪柏原RC
大谷 隆英	1	大阪柏原RC
早瀬 道圓	3	大阪中之島RC
吉治 仁義	3	大阪北RC
山本 潤	2	大阪北RC
岩堀 雅彦	1	大阪北RC
江崎 正道	2	大阪北RC
真野清以志	2	大阪北RC
河野眞一郎	2	大阪北RC
梶原 常義	1	大阪北RC
松下 靖祐	1	大阪北RC
山川 博司	1	大阪城北RC
川原 和彦	2	大阪天満橋RC
成松 正和	1	大阪天満橋RC
鎌田 充生	4	大阪天満橋RC
小澤 満	3	大阪天満橋RC
梅本 知秀	1	大阪天満橋RC
松山 辰男	1	豊中RC
樽井 郁夫	2	豊中千里RC
石田 肇	2	東大阪東RC
川口 淳三	4	東大阪東RC
栗原 大	1	大阪フレンドRC
柴山 泰範	1	大阪フレンドRC
安井 稔	1	大阪フレンドRC
粉川 雅至	1	千里RC
萬年 成泰	2	千里RC

氏名	回数	クラブ名
稲本 英治	3	吹田RC
和田 弘毅	1	吹田RC
羽間 勝昌	3	吹田RC
北野 龍二	1	吹田RC
福室 忠正	2	吹田RC
柳川 義行	2	吹田RC
石崎 克弘	2	吹田西RC
澁谷 清明	1	吹田西RC
尾家 亮	4	吹田西RC
村上 元昭	2	高槻東RC
田中 春次	2	高槻東RC
森山 鐵男	2	高槻東RC
森本 三	1	高槻西RC
高橋 徳	2	高槻西RC
矢野 克吉	2	茨木東RC
城谷 星	2	茨木東RC
木本 誠一	1	茨木東RC
松尾 康弘	1	茨木東RC
塩谷嘉太郎	2	茨木東RC
藪野 洋	1	大阪咲洲RC
長崎 三男	1	大阪咲洲RC
荒石義一郎	4	大阪咲洲RC
宝上 富之	1	大阪咲洲RC
林 成志	2	大阪鶴見RC
田中 信明	4	大阪鶴見RC
橋本 逸郎	4	大阪うつぼRC
堤 昌彦	2	大阪うつぼRC
中山 重積	3	大阪うつぼRC

氏名	回数	クラブ名
濱田多喜男	2	大阪うつぼRC
市村 孔	1	大阪うつぼRC
岩根和加子	1	大阪うつぼRC
市川 雅邦	2	大阪西RC
西村真一郎	1	大阪西RC
横尾 泰治	2	大阪西RC
久尾潤一郎	1	八尾RC
中西 啓詞	5	八尾RC
森下 慶治	4	八尾東RC
池本 繁喜	5	八尾東RC
桑田夕ア子	3	八尾東RC
藤本 和俊	2	大東RC
上田 正義	2	大東RC
高島 登	2	大東RC
小林 誉典	1	大東RC
立岡 寛次	5	東大阪RC
山下 勝弘	7	東大阪RC
西村 光洋	1	東大阪RC
竹中 照次	2	東大阪RC
瀧田 浩彦	3	東大阪中央RC
出原 正秀	2	東大阪中央RC
渡辺 斌	3	東大阪中央RC
阪田 克英	1	東大阪みどりRC
吉龍 資雄	2	箕面RC
黄堂 泰昌	2	箕面RC
福田 治夫	3	守ロイブニングRC
泉 博朗	3	大阪帝塚山RC
盛田 三五	3	大阪東RC

田中 等	2	大阪心斎橋RC	植田 卓	2	大阪心斎橋RC	吉田日土光	4	豊中南RC
早川 謙一	4	大阪心斎橋RC	西村 拓夫	1	大阪心斎橋RC	岡本 眞弘	3	豊中南RC
境 喜世治	1	大阪心斎橋RC	古森 浩	1	大阪城北RC	長谷川龍司	2	豊中南RC
鈴木 公平	3	大阪心斎橋RC	西田 恵心	2	大阪城北RC	増山 忠雄	1	豊中南RC
河合 正行	1	大阪心斎橋RC	水本 徹	3	千里メイプルRC	柳 雄二	4	八尾中央RC
森 泰輔	3	大阪心斎橋RC	佐伯 吉捷	1	千里メイプルRC	中井 敬和	2	八尾中央RC
松田 隆光	1	大阪心斎橋RC	生駒 俊雄	4	高槻RC			

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
原田 武夫	くずはRC	井上 義信	吹田RC	山田 哲男	八尾東RC
成松 正和	大阪天満橋RC	高岸 久典	高槻東RC	佐井 義昌	東大阪中央RC
平山 直樹	吹田RC	成山 肇	大阪咲洲RC		

メジャードナー 次の方たちにメジャードナーの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
前田 葉子	大阪リバーサイドRC	福家 宏	八尾中央RC

2014年1月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	67.36	60.42
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	84.09	79.21
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	77.53	73.00
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	94.54	92.69
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	82.41	73.97
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	85.97	80.38
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	66.86	55.60
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	79.44	72.09
	小計	243	252	14	14	5	9		79.78	73.42
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	93.00
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	70.97	66.64
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	83.93	75.89
千里		38	39	0	1	0	1	4	85.21	77.94
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	87.95
摂津		37	37	2	0	0	0	4	92.28	80.55
吹田		60	60	10	2	2	0	3	92.86	88.69
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	3	98.92	93.37
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	90.67
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	89.20	82.74
高槻東	36	38	2	2	0	2	4	95.07	92.77	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	89.29	73.81	
小計	437	444	39	13	6	7		90.49	82.79	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	3	100.00	93.76
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	80.75	72.33
	枚方	40	43	0	7	4	3	4	94.23	86.38
	門真	30	32	6	3	1	2	4	88.71	79.71
	交野	32	35	1	3	0	3	4	73.95	70.04
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	90.63	84.38
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	81.90	71.84
	守口	42	42	4	0	0	0	4	80.99	71.72
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	83.34	75.93
	寝屋川	42	41	5	0	1	-1	4	90.24	83.54
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94	
小計	362	371	31	18	9	9		87.15	80.32	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	83.89	75.54
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	3	92.86	85.71
	東大阪東	55	60	4	5	0	5	4	93.57	73.30
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	4	87.04	68.51
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.33	73.74
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	88.62	85.07
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	3	77.78	51.85
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	74.60	74.12
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	86.98
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	86.85	82.61
小計	370	374	14	15	11	4		87.02	75.74	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	93.96	76.63
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	84.44	76.66
	大阪北	197	192	0	7	12	-5	4	74.57	66.09
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	3	77.92	69.48
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	90.56	82.47
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	92.36	87.50
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	88.97	77.76
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	86.88	80.70
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	98.50	83.78
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	92.85	88.08
大阪梅田東	25	28	0	5	2	3	4	87.50	70.53	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	4	85.61	77.27	
小計	632	649	46	41	24	17		87.84	78.08	
I M 第6組	大阪	257	271	1	20	6	14	4	72.48	58.10
	大阪東	117	121	0	8	4	4	4	94.14	80.73
	大阪東淀ちゃやまち	30	29	3	0	1	-1	3	90.00	71.67
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	4	89.89	84.85
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	92.85	74.99
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	4	84.82	76.55
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	76.80	72.70
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	79.56	75.90
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	3	84.61	81.15
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	93.33	81.16
新大阪	32	33	1	2	1	1	3	90.91	86.87	
小計	718	732	23	43	29	14		86.31	76.79	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	4	85.10	69.49
	大阪御堂筋本町	61	58	3	0	3	-3	4	83.85	75.78
	大阪南	144	157	0	17	4	13	4	83.81	73.50
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	86.91	76.45
	大阪なにわ	25	26	3	2	1	1	4	87.27	75.98
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	87.21	78.40
	大阪西南	98	99	21	3	2	1	4	90.39	69.16
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	3	95.30	84.70
	大阪心斎橋	33	35	0	2	0	2	4	98.57	85.48
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	4	89.07	84.21
小計	519	543	38	36	12	24		88.75	77.32	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	99.14	84.83
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	94.64	80.36
	大阪城南	53	52	0	3	4	-1	4	94.73	88.01
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	80.55	76.38
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	85.59	82.70
	大阪帝塚山	53	53	4	2	2	0	3	82.85	79.39
	大阪東南	50	50	0	1	1	0	4	94.00	68.00
	大阪アーバン	23	24	7	3	2	1	4	85.42	83.33
	大阪みおつくし	34	26	14	4	12	-8	4	73.25	66.12
	小計	333	324	31	17	26	-9		87.80	78.79

合計	クラブ名	7月期初 会員数	1月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3689	236	197	122	75	86.9	77.9

文庫通信 (317号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より (2)

- 『『奉仕の理想』をめぐって その2』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 『『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか?』 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- 『『職業奉仕』はロータリーの根幹か?』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 「地区大会 その1~3」 深川純一 (伊丹R.C) 2013 3p (純ちゃんのコーナー PartXII)
- 「ロータリーの歴史年表」 諏訪昭登 2013 7p
- 「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」 田淵水作夫 2013 69p
- 「あかあかや あかあかあかや」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)
- 「近頃の世相に想うこと」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)

[以上申込先：ロータリー文庫]

- 「国際ロータリー日本人RI理事と日本ロータリー93年の流れ」 前岡志郎 2013 8p

[申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時~午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

北 村 英 一 会員（吹田RC）

2013年11月28日 逝去（享年89歳）

会長、幹事、国際奉仕委員長、
会報委員長、地区ローターアクト委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びとお知らせ

月信2月号ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

ガバナーノミニー指名宣言 松本進也氏の略歴

（誤）1996年 松本章時株式会社 代表取締役社長

（正）1996年 松本商事株式会社 代表取締役社長

また、月信1月号16ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

米山功労者 張虞安（交野RC）

（誤）3回目

（正）9回目

■ホームページアドレス・メールアドレス変更

大阪帝塚山ロータリークラブ

新メールアドレス osaka.tezukayama.r.c@gmail.com

新ホームページアドレス <http://osaka-tezukayama-rc.cocolog-nifty.com>

大阪咲洲ロータリークラブ

新ホームページアドレス <http://sakishimarc.web.fc2.com/>

■事務局移転（2014年2月21日より）

大阪西ロータリークラブ

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 30階（TEL・FAXは変更ありません）

大阪淀川ロータリークラブ

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 30階（TEL・FAXは変更ありません）

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

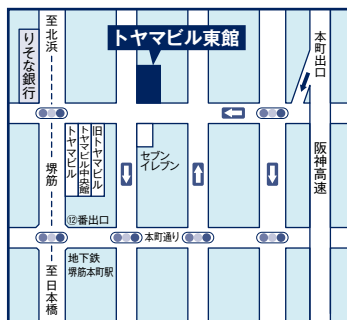
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp